



林業のスペシャリストを目指す!!

栃木県林業大学校

Tochigi Prefecture Forestry Academy

就業前長期課程



令和8(2026)年度
学生募集案内



研究と研修の拠点

～研究機関と併設～

林業センター 林業大学校

時代の潮流

林業・木材産業を取り巻く追い風
SDGs 脱炭素
カーボンニュートラル
ウッドチェンジ

森林資源・木材利用の推進

人材育成が重要

研修・人材育成の拠点

とちぎの林業をまもり、つなぐ次世代の担い手を育成

●就業前長期課程

- ・ビギナー研修課程
- ・就業前単科研修課程（初級）
- ・就業後基礎研修課程（初級）
- ・就業後スキルアップ研修課程（中級）
- ・就業後スキルアップ研修課程（上級）
- ・現場指導者養成研修課程
- ・林業経営者育成研修課程

木材研究施設

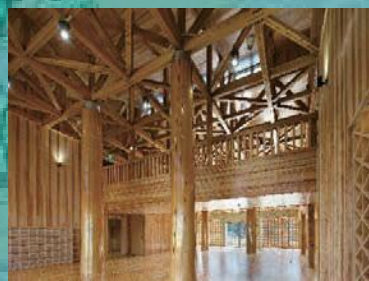
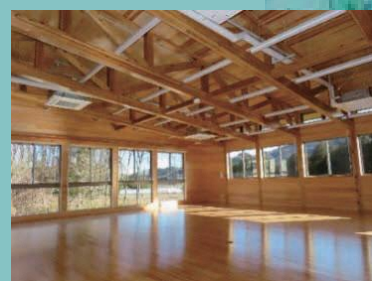


エリートツリー 採種園



本館（研修・研究棟）

最先端の木造建築
多種多様な架構を用い建物自体が教材として使える施設



きのこ研究施設



林業機械整備棟

最先端の高性能林業機械で実践的な研修



全天候型実習棟

雨天時もチェーンソー伐倒練習などの実技研修が可能な施設



教室



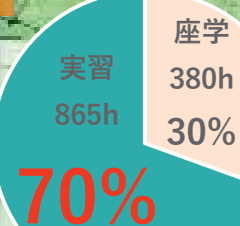
大講義室



“林業学”の習得

実習重視

高性能林業機械
VR・ARシミュレーター
ドローン etc.



森林施業
林業経営
安全教育
etc.

産官学が連携した 豊富な研修フィールド

21世紀林業創造の森
高原県有林 国有林
宇都宮大学演習林など

とちぎの林業を守りつなぐ 第一線で活躍できる人を養成します

大学校の概要

栃木県林業大学校は令和6年4月に開校しました。これから林業への就業を希望する方を対象とした就業前長期課程では、1年間を通し、森林・林業・木材産業に関する幅広い知識や林業作業に必要な安全かつ専門的な技術を身につけます。また、大学校は栃木県の試験研究機関である「林業センター」と併設しているため、学生は試験研究施設の見学や研究員との交流を通じて、森林・林業・木材産業に関する総合的な知見を得ることができます。



本館(研修・研究棟)

施設の紹介

【本館（研修・研究棟）】

学生の学び舎である本館は、本県の林業・木材産業の資源や技術を駆使した木造施設です。最先端の木造建築が用いられているほか、木材の持っている調温・調湿機能、リラックスできる木の香など、五感で木の良さを感じながら学ぶことができます。



交流スペース



教室(学びの部屋)



大講義室

【全天候型実習棟】

校内で行う実習の拠点となる全天候型実習棟は、荒天でも屋内で実習することができる施設です。実習棟内には、実際の林業現場に近い傾斜を再現してチェーンソーでの伐倒作業を反復練習できる伐倒練習機や、実機の操作レバーや動きを忠実に再現して現実に近い林地を体感しながら練習を行うことができるハーベスターシミュレーターなどが配備されています。



全天候型実習棟外観



伐倒練習機



ハーベスターシミュレーター



時間割

時限	朝会	1	2	3	昼休み	4	5	6	片付け
時間	8:30 ～ 8:40	8:40 ～ 9:40	9:50 ～ 10:50	11:00 ～ 12:00	12:00 ～ 13:00	13:00 ～ 14:00	14:10 ～ 15:10	15:20 ～ 16:20	16:20 ～ 16:40



“林業学”の習得・実習重視のカリキュラム

大学校では、林業を全く知らない方でも、充実したカリキュラムと整った研修設備のもとで、1年間、知識や技術を基礎から学ぶことができます。カリキュラムの約7割が実習に充てられており、卒業時には林業現場に必要な15種類の資格を取得できます。



その1 幅広い知識を学ぶ

森林・林業・木材産業に関する基礎から応用編まで、幅広い知識を学びます。

項 目	科 目
林業基礎	林業の基礎
	森林の役割
	施業地を知る
	樹木学
	森林気象
安全衛生	安全衛生教育
	交通安全講話
森林保護	森林病虫害
	鳥獣害
	鳥獣利用
	狩猟わな免許
森林利用	木材利用・流通
	特用林産
林業経営	林業経営の基礎
	森林経営計画
	現場管理
一般教養	ビジネスマナー
	情報処理



樹木学(実習)



鳥獣害(実習)



狩猟わな(実習)



木材利用・流通(実習)



特用林産(実習)



林業経営の基礎(実習)



その2 基礎的な技術を習得する

森林の調査から植栽・保育・伐採といった林業に必要な技術を習得します。チェーンソーや高性能林業機械運転などの資格も取得します。



測量基礎(実習)



立木調査(実習)



地拵え(実習)

項 目	科 目
森林調査	測量基礎
	立木調査
	デジタル測量
造林保育	地拵え
	育苗
	造林
	下刈り
	除伐・枝打ち
	除伐・切捨て間伐・かかり木処理
路網作設	林道・森林作業道作設
素材生産	選木・伐木
林業機械	手工具の取扱とメンテナンス
	刈払い機、チェーンソーのメンテナンス
	高性能林業機械のメンテナンス
	ロープワーク
	ハーベスターシミュレーター研修
	林業災害シミュレーター研修
	スマート林業
	伐採・造材・搬出



造林(実習)



下刈り(実習)



切捨て間伐・かかり木処理(実習)



高性能林業機械による伐採・造材・搬出(実習)



伐採・造材(実習)



スマート林業(実習)



森林作業道作設(実習)



取得できる15の資格

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 車両系建設機械運転技能講習 | ⑨ 伐木等機械運転特別教育 |
| ② 不整地運搬車運転技能講習 | ⑩ 走行集材機械運転特別教育 |
| ③ 小型移動式クレーン運転技能講習 | ⑪ 簡易架線集材装置の運転特別教育 |
| ④ 玉掛け技能講習 | ⑫ 救命救急講習 |
| ⑤ 伐木等の業務に係る特別教育 | ⑬ 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育 |
| ⑥ ロープ高所作業特別教育 | ⑭ はい作業安全衛生教育 |
| ⑦ フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 | ⑮ フォークリフト運転技能講習 |
| ⑧ 機械集材装置の運転特別教育 | |



車両系建設機械運転技能講習



小型移動式クレーン運転技能講習



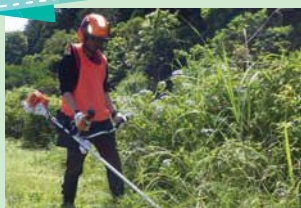
簡易架線集材装置の運転特別教育



その3 林業の実践力を高める

林業現場や就業へのイメージをつかむため、インターンシップを実施します。また、インターンシップの前に就業説明会を行い、企業の業務内容などの情報収集を行います。そのほか、地域貢献活動として、地元自治会が管理するあじさい植栽地を守るため、実践を兼ねて草刈りを行っています。

地域貢献活動



就業説明会



インターンシップ



オープンキャンパス



就職率
100%!

【卒業生の就職先(21名)】

・森林組合(8名)

大田原市森林組合 鹿沼市森林組合 栗野森林組合
那須町森林組合 日光市森林組合 宇都宮市森林組合

・民間事業体(12名)

(株)塩那森林サービス (株)ヨネザワ・フォレスト
高原林産(株) (株)山光 (株)栃毛木材工業

・官公庁(1名) 栃木県

募集概要 [就業前長期課程]

応募資格 高等学校又は中等教育学校を卒業した者もしくは令和8年3月31日までに卒業する見込みの者 等

定員 15名程度 **期間** 1年間(1,245時間程度)

授業料 年額 118,800円

※別途、テキスト・安全装備・保険料等が必要になります。

試験の方法及び日程

試験区分		出願期間	試験期日
推 薦		令和7年 9月 1日(月)～ 9月30日(火)	令和7年10月15日(水)
一 般	前 期	令和7年11月10日(月)～12月 1日(月)	令和7年12月16日(火)
	後 期	令和8年 1月 9日(金)～ 2月10日(火)	令和8年 2月18日(水)

緑の青年就業準備給付金制度

大学校卒業後、林業へ就業し、その中核を担うことに強い意志を持っている方が安心して授業に専念できるよう、国の給付金制度があります。給付要件を満たす場合には、最大141万9千円が給付※されます。

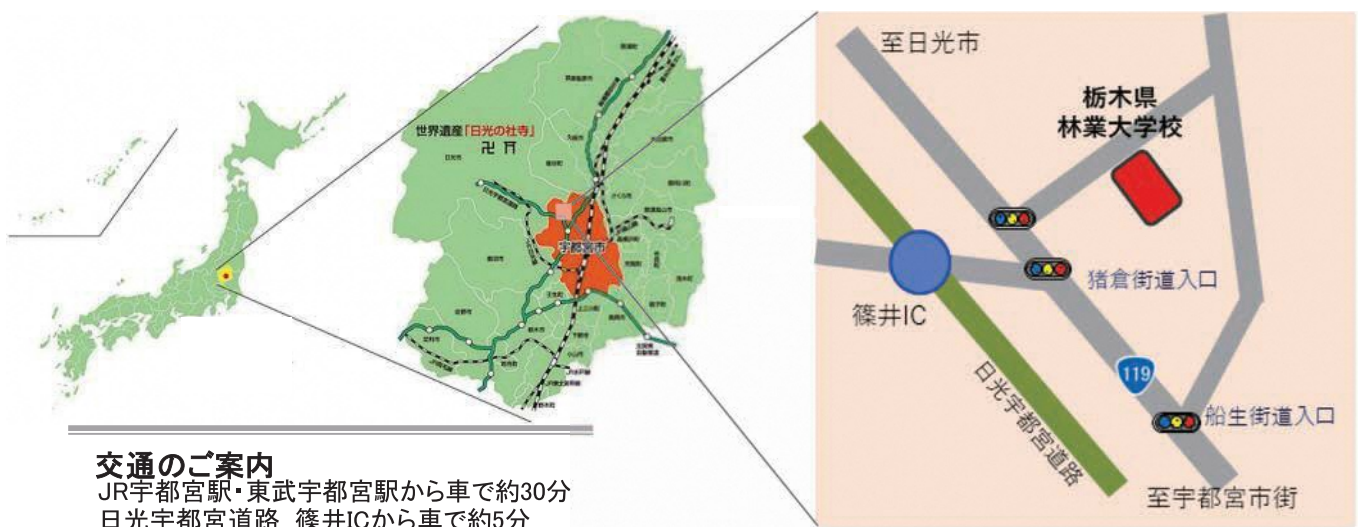
※給付金は、5月及び10月の2回に分割し支給されます。

※希望者数等により上限額の給付とならないことがあります。

給付要件等

- (1)すべての授業を適切に受けること。
- (2)林業への就業予定時の年齢が原則45歳未満であり、林業へ就業し、将来的にはその中核を担うことに強い意欲を有していること。
- (3)常用雇用の契約を締結していないこと。
- (4)原則として生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付等を受けていないこと(例:生活保護制度、雇用保険制度[失業手当]等)。
- (5)過去に本給付金の給付を受けていないこと。
- (6)大学校卒業後1年以内に林業分野に就業し、2年間以上継続して従事すること。
- (7)大学校在学中に研修状況報告を年2回、就業後5年間は就業状況報告を年2回行うこと。

アクセス



交通のご案内

JR宇都宮駅・東武宇都宮駅から車で約30分
日光宇都宮道路 篠井ICから車で約5分

栃木県林業大学校

〒321-2105 宇都宮市下小池町280

[TEL] 028-612-6069

[FAX] 028-669-2212

[E-mail] rindai@pref.tochigi.lg.jp



栃木県